

一宮市立市民病院 乳腺・内分泌外科に通院中または過去に通院された患者さん
またはご家族の方へ

薬剤局の臨床研究に御協力をお願いいたします。

現在、「ペグフィルグラスチム皮下注ボディーポッド導入時の運用体制の構築と導入後の評価」に関する臨床研究を実施しております。
このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

研究課題名	ペグフィルグラスチム皮下注ボディーポッド導入時の運用体制の構築と導入後の評価
所属（診療科）	薬剤局
研究責任者（職名）	伊藤 弘美（薬剤師）
研究実施期間	倫理委員会承認日～令和8年12月31日
研究の意義・目的	ペグフィルグラスチムは化学療法による好中球減少症や発熱性好中球減少症（FN）の一次予防として広く用いられています。近年、自己注射製剤としてペグフィルグラスチムボディーポッドが開発・承認され、実臨床で使用されています。しかし、ペグフィルグラスチムボディーポッドの実臨床での安全性や従来の皮下注群との比較、運用体制についての報告は限られています。 本研究では、乳がん術前術後化学療法患者におけるペグフィルグラスチムボディーポッドの一次予防投与の実臨床における安全性と運用上の問題点を評価することを目的としました。
対象となる患者さん	2025年6月1日から2026年3月31日までに当院で乳がん術前術後化学療法において一次予防としてペグフィルグラスチム製剤を使用した患者さん
利用するカルテ情報	性別、年齢、化学療法内容、投与日、デバイス関連不具合、副作用、問い合わせ等
研究方法	診療データを基にした後向き観察研究
問い合わせ先	一宮市立市民病院 薬剤局 〒491-8558 愛知県一宮市文京 2-2-22 電話：（代表）0586-71-1911

本研究では、通常の診療において得られた診療記録（カルテ）や検査結果などの情報を利用して実施します。そのため、新たな診察や検査、検体の採取などは一切行いません。
研究にあたっては、患者さんを直接特定できる個人情報（氏名、住所、IDなど）を削除・匿名化したうえで、統計的に処理・解析を行います。
得られた研究成果は、医学・薬学の発展に寄与することを目的として、学会発表や論文投稿等に利用されることがありますが、個人が特定されることはありません。
ご自身の診療情報等を本研究に利用されることをご了承いただけない場合は、研究対象とはいたしませんので、上記の連絡先までお申し出ください。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。